

地域でつながる・つなげる

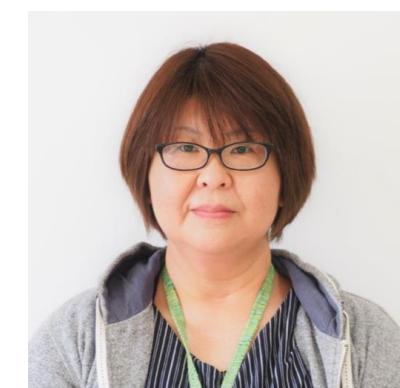
～推進員機能を持続発展させながら、ともに生きる地域をつくる～



社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会
上 藺 和子 地域支援部地域支援課 地域支援センター 園部担当
第2層生活支援コーディネーター
元・認知症地域支援推進員



笹江 喜子 相談支援部地域包括支援課 南丹地域包括支援センター
認知症地域支援推進員



南 丹 市

2006年に園部・八木・日吉・美山の4町が
合併してできた市



森・里・街・人がきらめくふるさと南丹市



さくらちゃん

人口・・・・・・・・・・30,597人

65歳以上人口・・・・11,004人

高齢化率・・・・・・・・36.0%

日常生活圏域・・・・4

地域包括支援センター・・1か所

面積・・・・・・・・・・616.4km²（府内 第2位）

主要産業・・・・・・・・（国勢調査より）

第三次産業従事者（商業，金融業，運輸業，
情報通信業，サービス業）が多い

都市部に近い地理を生かした製造系企業が多い

気候・地理的特徴・・

山陰内陸性気候、平均気温は13℃ 天気予報は南部
山林面積が88%を占める自然豊かな地域

▶ 最後のお城 最古の天満宮

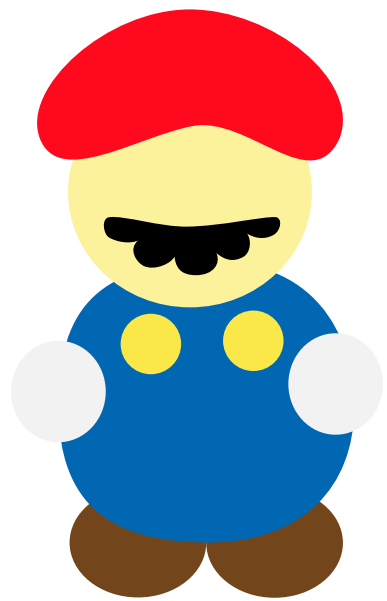


◀ 天皇陛下に献上

▶ 桂川を守る日吉ダム



◀ 人々が暮らすかやぶきの里



京阪京都交通 標準時刻表 2022年3月12日改正

平日（お盆・年末年始を除く）

ゆき先	41 41B 43 43B JR 八木駅	41 神吉口	43 43B 原神吉口
5			
6	33		
7	31	42	
8	13		52
9	35		
10			
11	50	39	
12			
13	50		06
14			
15			
16			39
17	34		
18	48	27	
19		52	
20			
21			
22			
23			

備考 2121 旧神吉小前 標柱1

時刻表右下のQRコードからバス接近情報がご覧いただけます。
You can see the information of the bus approaching by scanning the QR code, at the bottom of the time table.

1時間に1本
駅に行けるか行けないか

ICOCA

令和3年春から

船岡駅 日吉駅

鍼灸大学前駅 胡麻駅

ICOCA ICOCA 定期券

がご利用できるようになります。

※1 西日本旅客鉄道株式会社（JR 西日本）発表

ICOCAが使えるようになった
のは令和3年

	園部	八木	日吉	美山	南丹市全体
世帯	7,239世帯	3,141世帯	2,112世帯	1,732世帯	14,224世帯
人口	15,632人	6,951人	4,506人	3,508人	30,597人
高齢化率	28.9%	41.1%	43.7%	47.5%	36%
面積	102.78km ²	49.56km ²	123.5km ²	340.47km ²	616.4km ²
コンビニ	6	3	1 7：00～22：00	0	10
スーパー	2	1	0	0	3
JRの駅	2	2	3	0	7
市役所支所から 疾患医療センターまで	8.1 k m (14分)	0.35 k m (2分)	15.2 k m (18分)	34.4 k m (40分)	平均14.51 k m (18.5分)

南丹市の認知症施策

南丹市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画

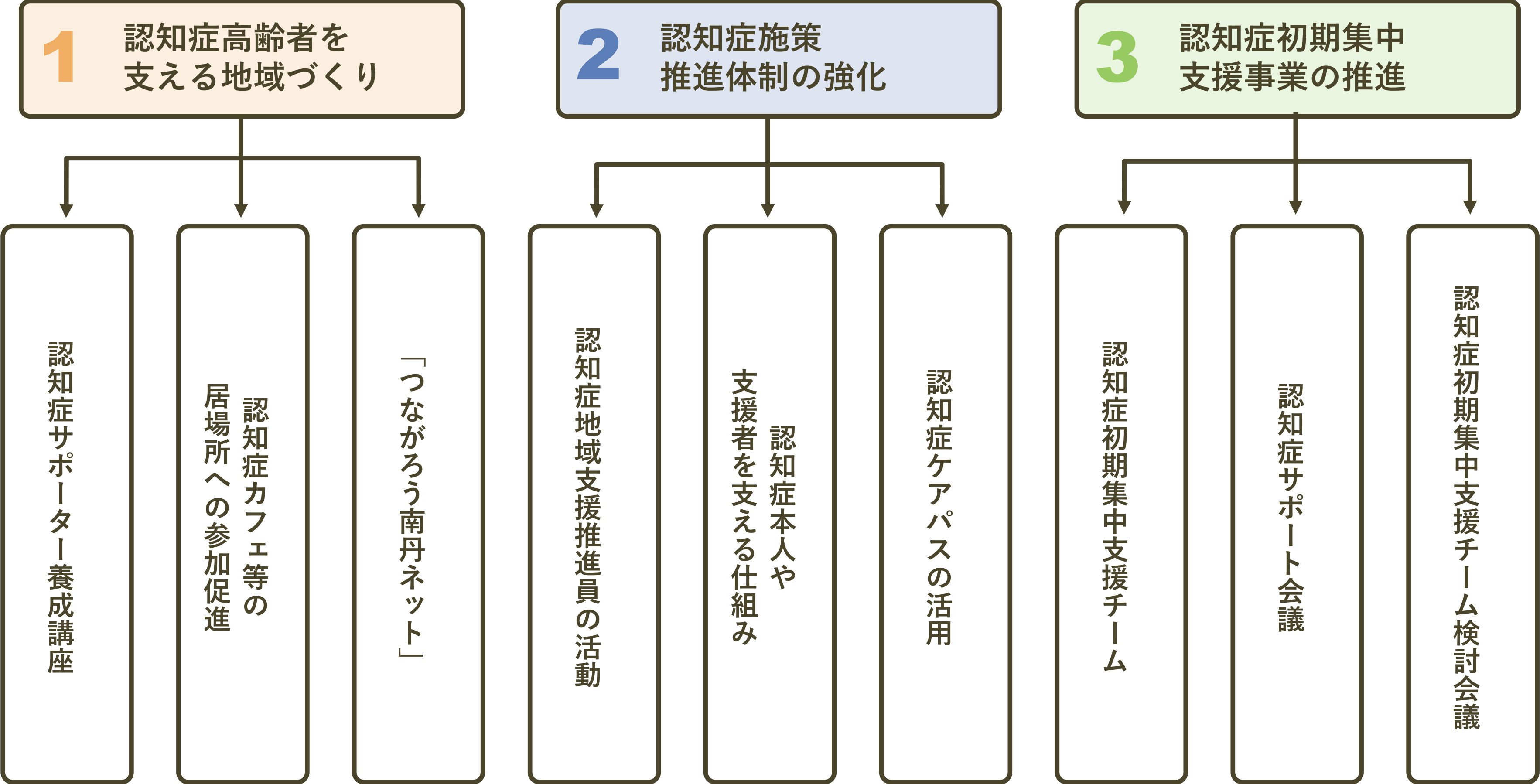
基本目標2 認知症になっても地域で暮らし続けられるまちづくり

啓発活動や認知症予防活動等、認知症高齢者支援の充実
「共生」と「予防」のための施策の推進



計画の達成指標

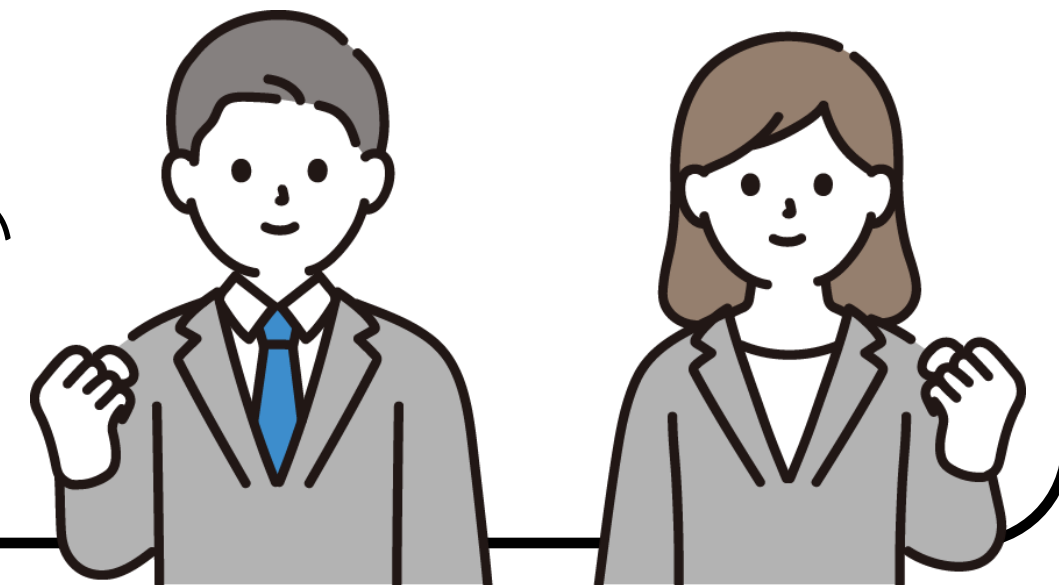
施策	施策に対する達成指標	現状値	達成の状態 (令和5年度)
施策4： 認知症高齢者支援施策の推進	1 認知症に対して肯定的なイメージをもつ高齢者の割合	42.9%	↗ 増加
	2 認知症に関する相談窓口の認知度	37.6%	↗ 増加
	3 徘徊SOS『つながろう南丹ネット』の協力事業所数	165ヵ所	↗ 増加



推進員の役割

- 介護サービス事業所及び地域の認知症支援機関の連携強化に向けた支援
- 認知症に関する相談対応
- 認知症バリアフリーの実現に向け、地域や当事者の支援活動

上記の活動を通して把握した地域課題の解決について、市と連携して具体策を検討していくこと



南丹市社協



ニャンたん

すべての住民のこころが輝く 福祉のまちづくり

南丹地域包括支援センター

- ・地域包括支援センター
- ・認知症初期集中支援チーム（全員）
- ・認知症地域支援推進員（包括と兼務）

地域支援センター

- ・地域福祉事業
- ・生活支援体制整備事業（1層SC/ 2 層SC）
- ・高齢者等生活支援事業（病院送迎・配食）



さくらちゃん

行政担当 |

南丹市市民福祉部 高齢福祉課

- ・地域包括支援センター担当
- ・2 層生活支援コーディネーター担当
- ・1 層生活支援コーディネーター

= 同じ人

職員配置員数

事務局長・事務局次長は総務課に、部長は所管課の1つに、課長は所管係の1つにそれぞれ計上（兼務の重複計上なし）

所 属			常 勤		非常勤	登録型	合計
部	課	係(事業所)	正規	嘱託			
地域支援部	総 務 課		4	2	3	0	9
	地域支援課	地 域 支 援 セ ン タ ー	3	1	0	0	4
		園 部 担 当	3	0	11	0	14
		八 木 担 当	2	0	16	0	18
		日 吉 担 当	2	0	16	0	18
		美 山 担 当	2	0	21	0	23
	小 計		16	3	67	0	86
相談支援部	生活相談課	生 活 相 談 セ ン タ ー	6	2	2	45	55
	地域包括支援課	南丹地域包括支援センター 園部事務所	3	0	0	0	3
		南丹地域包括支援センター 八木事務所	3	0	0	0	3
		南丹地域包括支援センター 日吉事務所	3	0	0	0	3
		南丹地域包括支援センター 美山事務所	2	0	0	0	2
	福祉サービス 相談課	ほほえみおおい居宅介護支援事業所	3	0	3	0	6
		ほほえみかぐら居宅介護支援事業所	3	1	0	0	4
		地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー	0	3	2	0	5
		特定相談支援事業所 てのひら	0	0	0	0	0
		児童相談支援事業所 てのひら	1	0	0	0	1
	小 計		24	6	7	45	82
	生活支援部	在宅介護1課	ほほえみ八木 訪問介護事業所	3	0	2	17
ほほえみかぐら 訪問介護事業所			2	4	1	23	30
在宅介護2課		小規模多機能ホーム だんない	5	0	9	0	14
		ほほえみ八木 通所介護事業所	6	1	13	0	20
		や ぎ 詩 の 郷	3	0	7	0	10
障がい福祉 サービス課		児童発達支援事業所 つくし園	6	1	5	0	12
		あ じ さ い 園	5	0	10	0	15
		ひ よ り 舎	1	0	5	0	6
小 計		31	6	52	40	129	
法 人 全 体 合 計		71	15	126	85	297	

自己紹介 |

- 社会福祉士
 - 介護福祉士
 - 介護支援専門員
-
- 京都府オレンジロードつなげ隊
 - 認知症リンクワーカー
 - 認知症初期集中支援チーム 2017～2019
 - 認知症地域支援推進員 2018～2019
 - 認知症ケア専門士 2010～2021
-
- 生活支援コーディネーター2020～

ウッディタウン
市民センター

男性介護者の会 **ぼちぼち野郎**
認知症セミナー

認知症本人の声を聴くことから始めませんか？

2016年
6月19日 日 14:00-16:00

ウッディタウン市民センター【多目的室】
入場無料 予約不要 (先着 50名様)
進行 富永春海 (ぼちぼち野郎)

第一部
14:00～14:40
「認知症になっても
大丈夫な社会を！」
講師：丹野智文氏 (自動車販売会社勤務)

第二部
14:50～16:00
「丹野さんと話してみよう！」
～皆さんの疑問にお応えします。～
お気軽にお越しください。

丹野智文氏 (仙台市在住)
自動車のトップセールスマン
でしたが、39歳でアルツハイマー病と診断されました。
現在は42歳。
診断後も勤務を続けながら、
全国に講演活動を行っている。
安倍首相とも意見交換。
その活動は2015年7月には
「カイアの夜明け」でも紹介
されました。

お問い合わせ
男性介護者の会 **ぼちぼち野郎**
TEL: 080-5332-0537
(担当:北村吉次)

私のつながり | 活動の原点



サーフィン@伊勢志摩 → RUN伴@福井県のメンバーに出会う
→ 当事者さんと一緒に福井に行く → タスキをつなぐ



呑み会@こばやし → 楽しく呑む → 当事者さん・パートナーさんに出会う
→ 若年性認知症支援者向け研修会@認知症疾患医療センター

認知症サポーター 1万人達成記念

たけうち ゆたか
竹内 裕さん

広島県広島市出身。営業一筋で役員として働いてきたが、57歳頃から職場や取引先でトラブルが続き、勤務先の社長に受診を勧められる。

59歳で前頭葉側頭葉認知症との診断を受ける。その後ボランティア活動や生活生涯講座など多忙な日々を送っている。



こすぎ
小菅もと子さん

愛知県豊明市在住。一男一女の母。パート勤めの傍ら、認知症の義母の介護に携わる。平成9年、義母の初個展を開く。平成10年『忘れても、しあわせ』（日本評論社）出版。平成14年、松井久子監督により『折り梅』として映画化される。講演活動を通じて、認知症の啓発に努める。



対談 「私の想いを聴いて」

竹内 裕さんが59歳で認知症と診断されたときの心情や周囲の反応、また、その後の日常生活におけるエピソードや講演活動などをされる中で感じておられることを、映画『折り梅』の原作者でもある小菅もと子さんとの対談でお話しいたします。どんな配慮があれば普通に生活できるのか、軽度認知症の人や家族にも生きていく勇気とヒントが見つかることを期待しています。

特別講演会

認知症を理解し、地域で支える

とき 平成30年12月8日土
10:00~11:30 (開場9時30分)

ところ 綾部市I・Tビル

対象 認知症サポーター、シルバーサポーター、ゴールドサポーター、医療介護福祉関係者、その他関心のある市民

参加無料
定員 150名
(事前申込必要)

■主催 社会福祉法人綾部市社会福祉協議会

■共催 健康ネットワーク京都
(健康生きがいづくりアドバイザー京都協議会)

■後援 綾部市、京都府中丹東保健所 (予定)

■申込、お問合せ
623-0012 京都府綾部市川糸町南古屋敷 5-1
社会福祉法人綾部市社会福祉協議会地域福祉係
電話 0773-43-2881 FAX 0773-43-2882
メール keibora@ayabe-shakyo.or.jp



Zoomで出会う → 講演会に行く → 南丹市に遊びに来られる
→ 研修会 @ 南丹市社協



RUN伴@京都府実行委員会
で出会う



講演会・写真展
@まちづくり
協議会



講演会・写真展
@介護者家族会

認知症地域支援推進員として

- ケアパス
- RUN伴
- 認知症にやさしい図書館





AtoZ



手に取っていただき
ありがとうございます。

「つながるAtoZ」とは、
認知症かもしれないと不安を感じている方や、
診断を受けて、これからの日々をどうしたら
よりよく暮らしていけるかと
考えておられる方に向けたメッセージを、
AからZの見出しで始まる26のキーワードとともに
まとめたものです。

ご自分のペースでゆっくりご覧ください。

ケアパスの課題

推進員としての疑問

- 1 関係者の間にはある程度広まっているが、認知症の人やその家族へ共有できていない。
- 2 認知症が疑われる時期・認知症の初期の方への支援が不十分
- 3 本人視点で見ると・・・？

作成委員会

職種など

本人
家族
保健師
作業療法士
介護支援専門員
社会福祉士
精神保健福祉士
地域福祉コーディネーター
認知症地域支援推進員

会場

社会福祉法人施設のコミュニティルーム（無料）

所属先

市役所
地域リハビリテーション支援センター
初期集中支援チーム
認知症の人と家族の会
社会福祉協議会
地域包括支援センター



ご本人との出会い

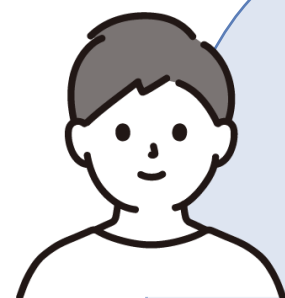
認知症疾患医療センター主催の
本人ミーティング

作成指標

認知症ケアパス 作成指標

基準	評価・アンカーポイント				
	1 ダメ	2 ⇔	3 そこそこ	4 ⇔	5 理想
内容-コンテンツ	わからない 不安になる		自分のこれからがイメージできる	安心出来る	豊かな人生を送ることに繋がる
内容-対象の広がり	専門職だけのもの		ご本人		誰もが
内容-誰が誰と読むか	専門職が専門職だけで読む(そして満足)		ご本人が家族や医師と		ご本人が先を歩くご本人と
作り方-プロセス	手順を踏まない		手順を踏む		丁寧な手順
作り方-誰が作るか	部外者/認知症を知らない人だけで作る	医療福祉の専門職だけで作る	ご本人と一緒に作る	たくさんのご本人と一緒に作る	たくさんのセクターと一緒に作る
作り方-内容の集め方	集めない/自分の知識の範囲内/古い情報かどうか考えずに/不要な情報を	新しい情報/先進地域の情報/ご本人の発信されている情報/	たくさんの情報を集める/みんなを持ち寄る/いろんな機関に協力してもらう		
手にした後-気持ち	ネガティブ		ポジティブ		周りもポジティブ
手にした後-行動	何も変わらない/以前よりも活動量が落ちる		何か一つでも前向きな行動が起こる		人生を豊かにするような行動に繋がる
手にする場所	手にできない/どこにあるかわからない	医療機関	医療機関/市役所/社協/介護保険事業所/図書館/コンビニ/金融機関	医療機関/市役所/社協/介護保険事業所/図書館/コンビニ/金融機関/民生委員・福祉委員から/お隣さんから/友人から/先を歩くご本人から	どこにいても手に入る
手にするタイミング	遅い		自分自身が変化を感じる時期/診断直後	自分事と感じた時期	若い/子供のうちに

当事者の意見



当事者①

コレ配布サイズは？A4冊子？B5？A5？ A5で小冊子としてみると、About・写真AtoZ・希望宣言のページは虫眼鏡ですね。

1番最後のMessageはこの感じとスペースならば、縦書きでも良いんじゃないかな？と感じました。Aboutと目次を別ページでも良いかな。

写真の中の文字(アルファベットね)は読めないと思う。パッと見、ごちゃごちゃな印象です。

ひとつひとつは短文なので、読んでみれば大丈夫ですね。

著作権も考えてね！今怖いから(^◇^;)

不思議と読み辛さを感じるからか？意味の理解に苦しむ文面も例えばK: 箇条書きの文字が並んでいるだけで、文脈が？

家族が本人へ言い聞かせている訳ですね！

2ページ増やせばイケるかな!?!としましたが残念



当事者③

こんなにたくさんの文章は読む気がしないなあ。

あともう少し読んで元気が出るようなメッセージが入っていると嬉しいかな。



当事者②

見ました。

A～Zまで支援者からの言葉ですよ。これを当事者からの言葉にしたらどうですか？笑顔だったら、なぜ笑顔になれたのか？など入れるとか。写真も当事者の活動や笑顔の写真にしたらいかな。

誰が読む冊子なのか？たぶん当事者に読んでほしいと思っているとは思いますが、これでは前向きにならないと思います。当事者に話を聞いてその言葉をA～Zまで入れたらいいと思います。

この冊子を作成する過程がとても大切で、みんなが当事者の話を聞く事が大切だと思っています。仙台でも、そんなの無理と言われましたが最終的にみんなが当事者と話をして変わりましたよ。委員の皆さんが1人1人話を聞いていく事が大切です。委員になっている1人の当事者だけではなく、何人もの当事者に聞く事が大切なのです。

頑張ってくださいね。応援していますよ！

<http://www.city.sendai.jp/> (仙台市個人版ケアパス)

参考にしてね

ケアパスポスター



「ポスター作ったらいいん
ちゃう」という声を受けて

当初計画になかったポスターを作ることに！

作成できた要因

- 誰かが出してくれたアイデア
- 市の担当職員さんの理解・応援

推進員の主体性を尊重してくださる担当者さん
のおかげでのびのびと活動が出来ました



ケアパスのお話

詳しく知りたい方はこちら





社協・包括だけでなく 町や市や府の職員さんもノリノリ



市長のあいさつ 調整は市の担当職員さん



当日はドクターやナースもノリノリ

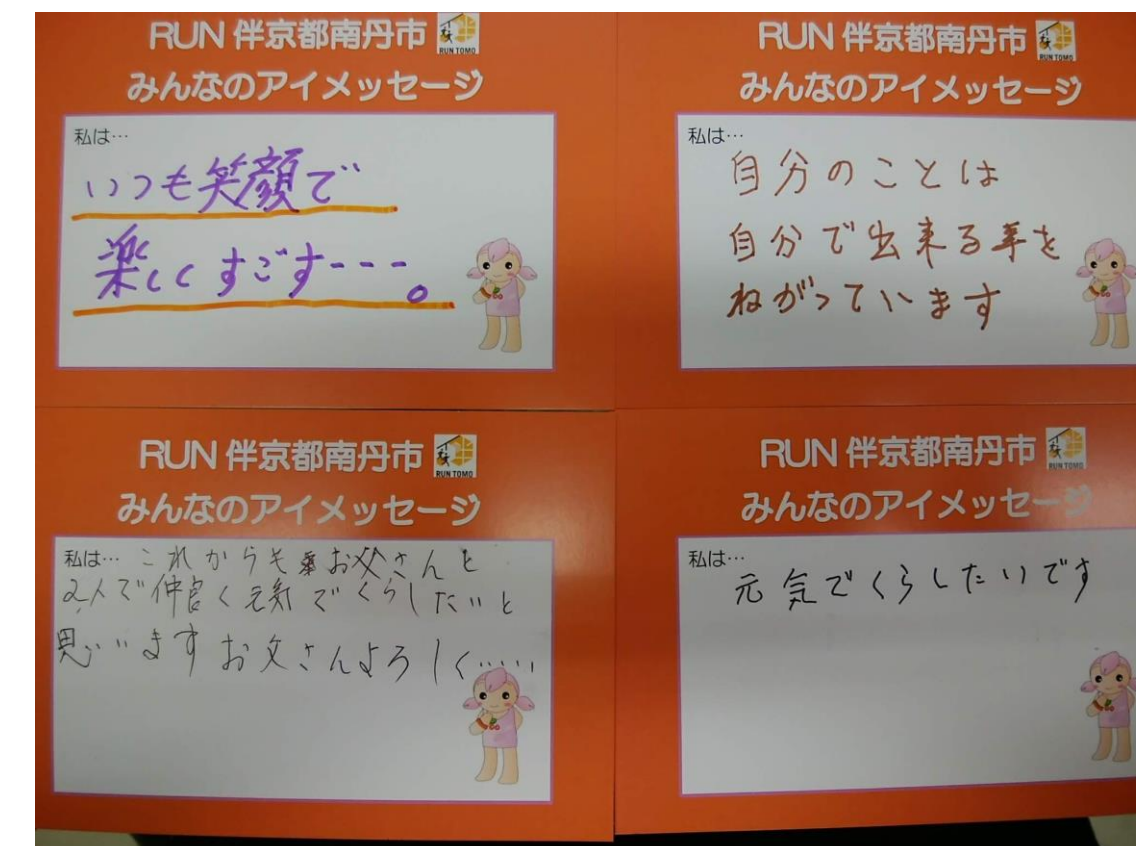
RUN伴 2018 |

圏域連携

- 亀岡市
- 京丹波町
- 南丹市

- 広報
- Run & walk
- アイメッセージ

民生委員/医師/看護師/ケアマネ
/PT/OT/介護職員





当日会場の使用許可・ボランティア活動許可などの調整は市の担当職員さん

RUN伴2019 |

- 市長・教育長を表敬訪問
調整は市の担当職員さん
- ポスターにメッセージが書けるように改良
- ご本人と会場整備
(ボランティア活動)
- 平日開催
- 小学校がゴール
- 認知症サポーター養成講座

＼市の職員さんありがとう／

改めて感じる
当時ありがたかったこと

- 細かなところで行政の他部署と連携し、推進員がスムーズに活動できるようフォローしてくれる
- つながった後は推進員に任せてくれ、そっと見守ってくれる
- 「違う」「ダメ」と言われない



企画展示 | 認知症にやさしい図書館
調整は市の担当職員さん
図書館職員と推進員をつないで下さいました

生活支援コーディネーターとして

- 連携・ネットワーク構築
- 支え合い活動の推進
- ニーズ調査・社会資源調査





連携機能 |

認知症カフェ実行委員会で
オンライン会議の
セッティング



連携機能 |

カフェ実行委員メンバーとして
法人内・他法人と協働して
カフェを運営



ネットワーク機能 |

オレンジガーデニングプロジェクトを商
工会さんと一緒に取り組む
推進員にはないネットワークにつなげる



支え合い活動の推進 |

オレンジガーデニングプロジェクトの苗を作るボランティアさんの支援



社会資源調査 |

● 卓球教室

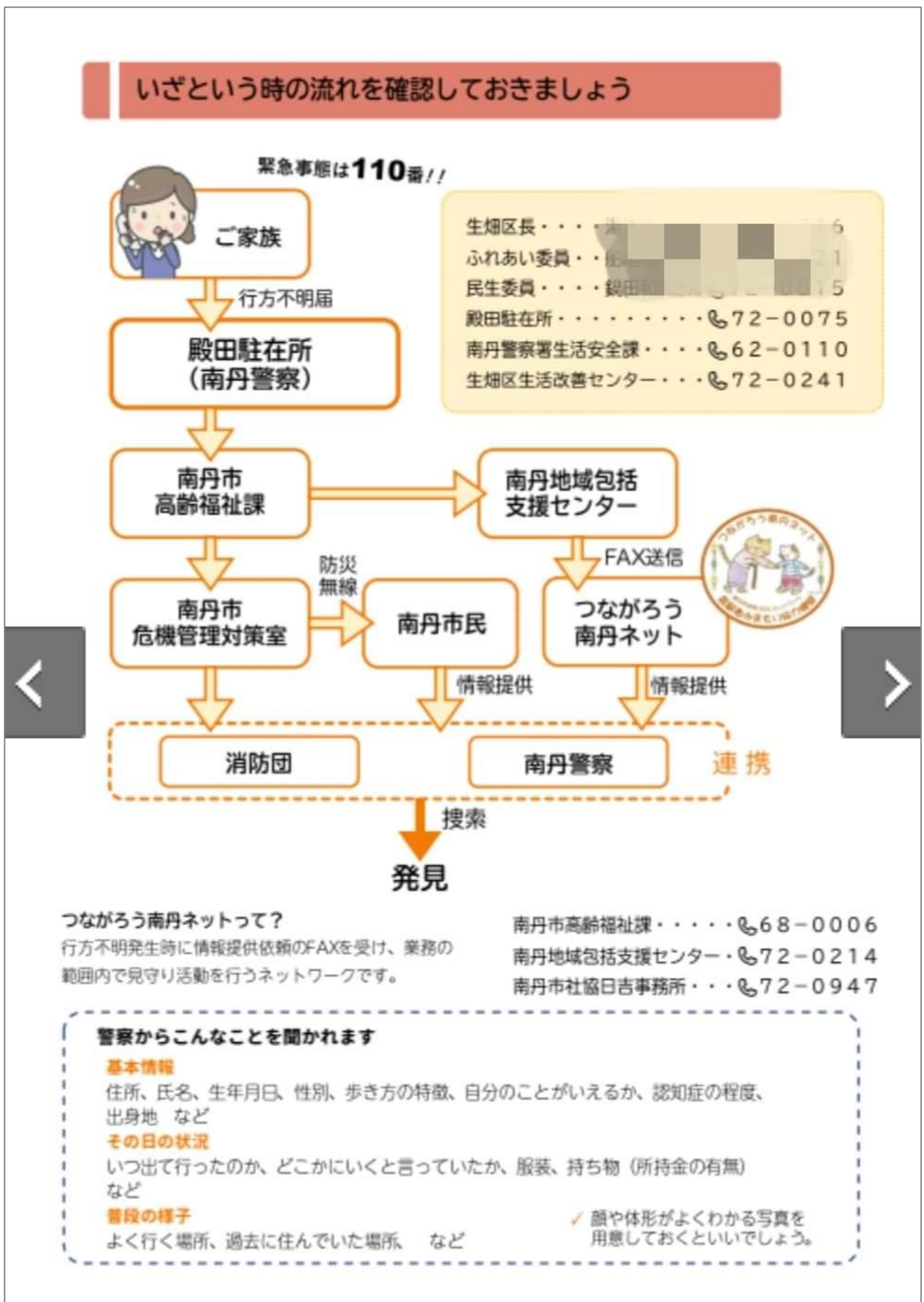


● 農業系高校のフラワーロス活動



ニーズ調査 | 連携機能 | 支え合い活動の推進 |

地域ケア推進会議からスタートし、ふれあい・いきいきサロンとして開催された
見守り・声かけ訓練



ネットワーク機能 | 千歳市認知症地域支援推進員さんに情報提供いただき作成した地域みんなのあんしん手帳

地域住民として

- オレンジガーデニングプロジェクト
- 写真展
- 講演会





オレンジガーデニングプロジェクト
6月9日

オレンジ色は認知症啓発のシンボルカラー。「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう！」という思いを共有し、全国各地でオレンジ色の花を咲かせましょう！
この活動を通して、認知症について考え、周囲の人と話をするきっかけにしたり、認知症の人といっしょに花を育てたりして、認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていきましょう。

認知症関連の各種イベントも、新型コロナウイルスの影響で中止や延期が続いています。そんな中でも、できる活動と一緒に取り組んでみませんか。いろんな所で、いろんな形で、花を育てながら成長も楽しみましょう。そして9月には思いのこもったオレンジ色の花が全国各地で癒しと元気を与えてくれることを願っています。

「オレンジガーデニングプロジェクト」 Facebookページより

参加費
500円

プロジェクト
参加者募集!!

オレンジの花の苗を協議会で用意しますので、ご自宅のプランターや花壇で育てていただけませんか？
ご協力いただける方は、協議会までご連絡ください。

胡麻地域まちづくり協議会では、このプロジェクトに賛同し、地域の皆様と一緒に、認知症と共に自分らしく暮らし続けられる地域を創っていきたいと思います。



go my town! go my self!

胡麻地域まちづくり協議会

胡麻基幹集落センター内

☎ 0771-74-0737 (胡麻基幹集落センター)

〔運営委員〕

出野敏 塩貝正和 塩貝潔子 上菌和子
和久田哲夫 塩内公博



9月 は 世界アルツハイマー月間

ORANGE GARDENING PROJECT

オレンジガーデニング プロジェクト

認知症になっても暮らしやすいまちを
みんなで創っていきましょう！

オレンジガーデニングプロジェクトとは

「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていきましょう！」という思いを共有しながら、9月の世界アルツハイマー月間にオレンジ色の花を咲かせましょう！
この活動をきっかけに、認知症について考え、周囲の人と話したり、認知症の人といっしょに花を育てたり、人・地域・社会との繋がりを持ち、認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていきましょう！という活動です。
初年度の2020年度は10都道府県、2021年度は18都道府県で実施、数千人から数万人に方が参加されたと思います。

オレンジガーデニングプロジェクト Facebookページより

〽️ 胡麻地域をオレンジ色の花でいっぱいに プロジェクト参加者募集！ 〽️

胡麻地域まちづくり協議会では、このプロジェクトに賛同し、地域のみなさまと一緒に「自分らしく暮らし続けられるまち」を創っていきたく考えています。
オレンジの花の苗を配布しますので、ご自宅のプランターや花壇で育ててください。
多くのご参加を
よろしくお願いいたします。



配布期間

令和4年8月15日[月] から
※なくなり次第終了します

配布場所

胡麻基幹集落センター

参加費
500円

go! mytown go! myself



胡麻地域まちづくり協議会

胡麻基幹集落センター内
電話 | 0771-74-0737





行ってきます
と
ただいま
の間にあった出来事を頑張って探す
その行為によって
今日一日という感覚、サイズができる
時間の感覚が無くなるという
不思議さ
不便さ
認知症の僕の日常

写真展

記憶とつなぐ ある写真家の物語

今年3月、京都市京セラ美術館である写真展が開催されました
記憶とつなぐある写真家の物語——
芸術の秋、基幹集落センターで、ゆっくりと写真鑑賞をしてみませんか

Photography by atsushi_shimosaka



入場
無料

admission free

2022

11 / SAT TUE
26 ▶ 29

[時間] 9:00~17:00

11/26のみ12:00~17:00

[場所] 胡麻基幹集落センター 2階ホール

ご来場時には、マスクの着用をお願いいたします。



主催 | 胡麻地域まちづくり協議会

協力 | 南丹市社会福祉協議会

今と未来を考えるまちづくり講座 第二弾

講演会



#記憶とつなぐ 認知症とともに歩む僕が見る景色

2022

11 / SAT
26

[時間] 10:00~12:00 (9:30受付開始)

[場所] 胡麻基幹集落センター 2階ホール

[参加費] 100円

定員
30名

写真家 下坂厚さんの講演会を企画することが出来ました。
カメラのファインダーを通して見える景色、そして若年性認知症当事者として
感じる日々の暮らしについて話を聞き、住みよいまちや、地域で暮らすことに
ついて考えてみませんか？



講師 下坂 厚氏

京都出身 京都在住 49歳
写真家・鮮魚専門店勤務・ケアワーカーなどの経歴を持つ
InstagramやFacebookで「#記憶とつなぐ」を付けた写真を投稿中
著書「記憶とつなぐ 若年性認知症と向き合う私たちのこと」2022/4発売
「なかまある Short Film Contest 2020」オーディエンスアワード受賞



Instagram



受賞動画

申し込み

下記の電話番号までお申し込みください。

TEL > 0771-74-0737
(胡麻基幹集落センター)

来場時にはマスクの着用をお願いします。
体調に不安がある場合は参加をお控えください。
検温・消毒等感染症対策のご協力をお願いします。



胡麻地域まちづくり協議会は
京都高齢者あんしんサポート企業です

主催 | 胡麻地域まちづくり協議会

協力 | 南丹市社会福祉協議会



南丹市社会福祉協議会

ミラたね助成金

(30, 000円)

→講師費用

チラシ作成費用に活用

講演会参加者 |

- 地域住民
- 介護者家族
- 元民生委員
- ヘルパー
- 包括職員
- まちづくり協議会
スタッフ

写真展来場者 |

- 南丹市
- 京都市
- 綾部市
- 京丹後市

講演会含め
74名の来場

＼実はAtoZデザイナー／

地域活動の
応援・サポート |
生活支援コーディネーター



2021 11 18

格子戸の向こうは

虹の様な
紅葉だった

認知症の診断を
受けた時は

真っ暗で
何も見えなかったけど

今はこうして

彩りを取り戻すことが
できた

#記憶とつなぐ
#若年性認知症
#彩り
#photography
#kyoto

スライド作成 |
生活支援コーディネー
ター

認知症とともに生きる人生を
彩り豊かにするエッセンスを共有する場



金曜日の19:00～
オンラインで
つながっています

まずはZoomで顔合わせることから
スタートしています。
お気軽にご参加ください!!

当事者の
当事者による
当事者のための
集まりです

たくさんの人と
つながりたい
と思っています

誰にも相談できなくて、思い悩んでおられる
当事者・ご家族はもちろん、「認知症の人と一緒に
何かやってみたいかも!」と思っている方、
ぜひ一度ご参加ください!

そして、お集まりの当事者・ご家族にも
ご案内をお断りします。

↓Zoomの入室情報はこちら↓
<https://us02web.zoom.us/j/4183419926?pwd=L3BONHhvaUlnZlRmT3Mvb0xkOWZkdz09>



ミーティングID: 418 341 9926
パスコード: 517351

お問い合わせ先

Irodori彩 事務局 ✉ irodori.kyoto2021@gmail.com

2021 12 10

【あなたの明日が彩り豊かでありますように!】

そんな願いを込めて『IRODORI 彩』
という、出会い・つながる扉を用意しました!

扉を開けて出会ったり、つながったりするもよし
扉を開けてみんなのお話を聴くだけでもよし

入りたい時に入って、出たい時に出る
それでいいんです!

人生の主演はあなたです!

IRODORI 彩 下坂 厚

#若年性認知症

#認知症

#アルツハイマー

スライド作成 |
生活支援コーディネー
ター

2020 7 24

LINEの便利な機能☆

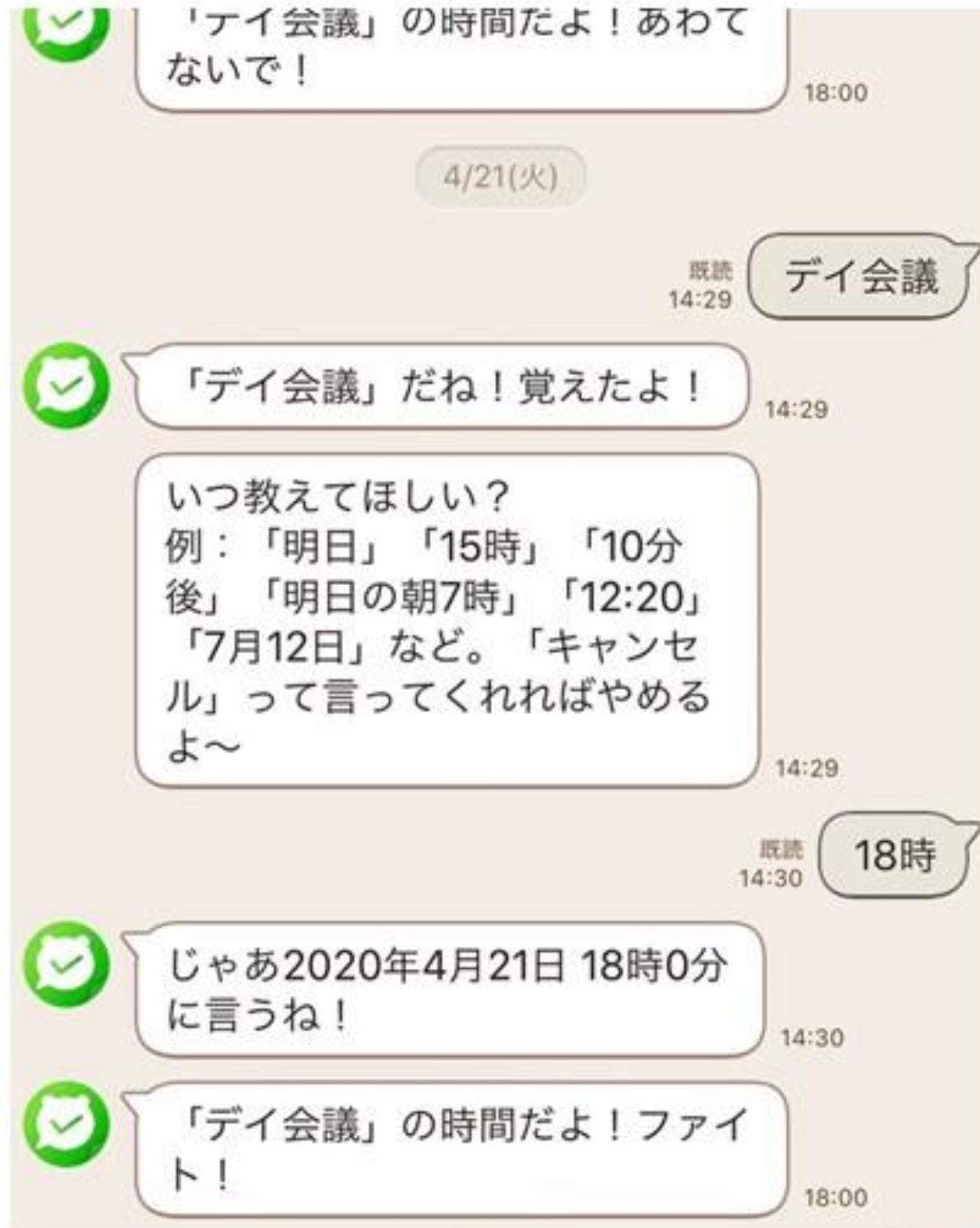
リマインくん

iphoneのアラーム機能はよく使うけど、
何のアラームだったか忘れてしまうので
このリマインくんは便利です👍

用件と時間を入力すると、
教えてくれます😊

#認知症
#若年性認知症
#アルツハイマー
#記憶とつなぐ
#写真
#リマインダー

スライド作成 |
生活支援コーディネー
ター





聞き役 |
まちづくり協議会
福祉部会スタッフ

南丹市認知症初期集中支援チーム オレンジチームなんたん

チーム員

- 南丹地域包括支援センター 相談員（全員）
- 京都中部総合医療センター 中村先生（認知症専門医）

南丹地域
包括支援センター
日吉事務所 相談員



看護師
主任介護支援専門員



社会福祉士
介護支援専門員



社会福祉士
介護支援専門員
認知症地域支援推進員

スライド作成 |
生活支援コーディネー
ター



説明 |
認知症地域支援推進員



写真撮影 |
生活支援コーディネーター



前日準備 |
まちづくり協議会スタッフ



2019年

いごく編集長に出会う → 推進員につながる

2022年

元推進員が推進員をつなげる

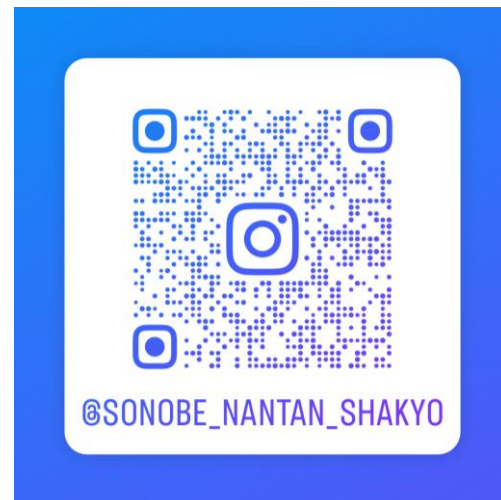
つながっていたら、いつかどこかで花が咲く

思っていること

- 推進員は一人で頑張らなくていい
- まちづくりをする味方は近くにいるはず
- 生活支援コーディネーターも是非仲間に
- 地域の力を信じてほしい



南丹市認知症地域支援推進員
facebook



南丹市社会福祉協議会 地域支援センター園部担当
Instagram

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

相談支援部 地域包括支援課

南丹地域包括支援センター 日吉事務所

認知症地域支援推進員/地域包括相談員

笹江喜子 | ささえ よしこ



〒629-0311

京都府南丹市日吉町保野田垣ノ内11番地

南丹市社会福祉協議会 本所

電話 | 0771-72-0214 FAX | 0771-72-3222

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

地域支援部 地域支援課

地域支援センター 園部担当

係長/園部エリアマネジャー/生活支援コーディネーター

上園和子 | うえその かずこ



〒622-0014

京都府南丹市園部町上本町南2番地22

南丹市園部文化会館 アスエルそのべ

南丹市社会福祉協議会 園部事務所

電話 | 0771-62-4125 FAX | 0771-63-5606